令和７年

国語演習　3

内容一覧（三年）			問題	解答用紙	解答
1	深まる学びへ	・握手	●	●	●
2	深まる学びへ	・学びて時に之（これ）を習ふ	●	●	●
3	視野を広げて	・作られた「物語」を超えて	●	●	●
4	言葉とともに	・俳句の可能性 ・俳句を味わう	●	●	●
5	状況の中で	・挨拶	●	●	●
6	状況の中で	・故郷	●	●	●
7	自らの考えを	・複数の意見を読んで、考えよう	●	●	●
8	いにしえの心を受け継ぐ	・君待つと	●	●	●
9	いにしえの心を受け継ぐ	・夏草	●	●	●
10	価値を生み出す	・それでも、言葉を	●	●	●

見本

目次へ
戻る

1

令7

深まる学びへ ・握手

3年
光村

見本

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（字数制限のある問題では、句読点、記号も一字と数えなさい。）

「いっとう悲しいときは……？」

「天使園で育った子が世の中に出て結婚しますね。子供が生まれます。ところがそのうちに、夫婦の間がうまくいかなくなる。別居します。離婚します。やがて子供が重荷になる。[a]そこで、天使園で育った子が、自分の子を、またもや天使園へ預けるために長い坂をとぼとぼ上ってやって来る。それを見るときがいっとう悲しいですね。なにも、父子（おやこ）二代で天使園に入ることはないんです。」

ルロイ修道士は壁の時計を見上げて、

「汽車が待っています。」

と言い、①右の人さし指に中指をからめて掲げた。これは「幸運を祈る」「しっかりおやり」という意味の、ルロイ修道士の指言葉だった。

上野駅の中央改札口の前で、思い切ってきいた。

「ルロイ先生、死ぬのは怖くありませんか。わたしは怖くてしかたがありませんが。」

かつて、わたしたちがいたずらを見つかったときにしたように、②ルロイ修道士は少し赤くなって頭をかいた。

「天国へ行くのですから、③そう怖くはありませんよ。」

「天国か。本当に天国がありますか。」

「④あると信じるほうが楽しいでしょうが。死ねば、何もないただむやみに㋐サビしいところへ行くと思うよりも、にぎやかな天国へ行くと思うほうがよほど楽しい。そのために、この何十年間、神様を信じてきたのです。」

わかりましたと答える代わりに、わたしは右の親指を立て、それからルロイ修道士の手をとって、⑤しっかりと握った。それでも足りずに、腕を上下に[b]激しく振った。

「痛いですよ。」

ルロイ修道士は顔をしかめてみせた。

上野公園の葉桜が終わる頃、ルロイ修道士は仙台の修道院でなくなった。まもなく㋑イッシュウキである。⑥わたしたちに会って回っていた頃のルロイ修道士は、身体（からだ）中が悪い㋒腫瘍の巣になっていたそうだ。葬式でそのことを聞いたとき、わたしは知らぬ間に、⑦両手の人さし指を交差させ、せわしく打ちつけていた。

〈井上ひさし「ナイン」より〉

1 ══線㋐～㋒の漢字には読みがなをつけ、かたかなは漢字に直しなさい。

2 〰線a「そこで」、b「激しく」の品詞名をそれぞれ漢字で書きなさい。

3 ──線①「右の人さし指に中指をからめて掲げた」とあるが、このように思いを表す指の動きを何と呼んでいるか。文章中から一語で抜き出して書きなさい。

4 ──線②「ルロイ修道士は少し赤くなって頭をかいた」とあるが、その理由をルロイ修道士の気持ちを踏まえて、三十字以上四十字以内で書きなさい。

5 ──線③「そう怖くはありませんよ」から読み取れるルロイ修道士の気持ちとして最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 死に対して大きな恐怖を抱いている。
イ 天国に行くことを心から楽しみにしている。
ウ 自分の死が近いことを悟り、死を覚悟している。
エ 自分の死から目を背け他人事のように捉えている。

6 ──線④「あると信じるほうが楽しいでしょうが」からわかるルロイ修道士の人物像として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 冗談を好む無神経な人
イ 楽天的で面白い人
ウ 無邪気だが孤独な人
エ 明るくて信仰心の厚い人

7 ──線⑤「しっかりと握った」とあるが、このときの「わたし」の気持ちとして最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 天国への旅立ちをうらやむ気持ち
イ 嘘をついたことに怒る気持ち
ウ 感謝の思いや別れを惜しむ気持ち
エ 本当は怖くて仕方がない気持ち

8 ──線⑥「わたしたちに会って回っていた」のはなぜか。その理由として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 天国があることを元園児たちに伝えるため。
イ かつての園児たちと最期の別れをするため。
ウ 自分の死期が近いことを知らせて回るため。
エ 父子で天使園に入らないようにするため。

9 ──線⑦「両手の人さし指を交差させ、せわしく打ちつけていた」について、次の問いに答えなさい。

(1) これは「お前は悪い子だ」という意味である。「わたし」はルロイ修道士のどのようなことを「悪い」と感じているか。二十字以上三十字以内で書きなさい。

(2) ここから読み取れる「わたし」の気持ちとして適当なものを次から二つ選び、記号で答えなさい。

ア 先生に恩を返しきれなかった自分へのやるせなさ
イ 自分の言葉を聞き入れない先生への失望
ウ 先生の病気に気づけなかった自分への憤り
エ 先生を死に追いやった、病気に対する怒り

2

令7

深まる学びへ

・学びて時に之（これ）を習ふ

3 年

光 村

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（字数制限のある問題では、句読点、記号も一字と数えなさい。）

1

①子曰（い）はく、「学びて時に之を習ふ、②亦説（またよろこ）ばしからずや。

（　④　）、亦楽しからずや。

③人知らずして慍（うら）みず、亦君子ならずや。」と。

子曰ハク、「学ビテ而時ニ習レフ之ヲ、不ニず亦説一バシカラ乎や。

④有下リ朋（とも）自二（より）遠方一来上タル、不ニ亦楽一シカラ乎。

⑤人不レシテ知ラ而不レ慍ミ、不ニ亦君子一ナラ乎ト。」

（学而（がくじ））

2

子曰はく、「故（ふる）きを温めて新しきを知れば、以（もっ）て師たるべし。」と。

子曰ハク、「温レメテ故キヲ而知レバ新シキヲ、

⑥可ベシト以テ為たル師矣。」

（為政（ゐせい））

3

子曰はく、「学びて a思はざれば 則（すなは）ち⑦罔（くら）し。

思ひて学ばざれば則ち b殆（あやふ）し。」と。

子曰ハク、「学ビテ而不レざレバ思ハ則チ罔シ。

思ヒテ而不レレバ学バ則チ殆シト。」

（為政）

4

子曰はく、「之を知る者は、之を好む者に⑧如（し）かず。

之を好む者は、之を楽しむ者に如かず。」と。

子曰ハク、「知レル之ヲ者ハ、不レ如二カ好レム之ヲ者一ニ。

好レム之ヲ者ハ、不レト如二カ楽レシム之ヲ者一ニ。」

（雍也（ようや））

〈「論語」より〉

1 〰線a「思はざれば」、b「殆（あやふ）し」を現代仮名遣いに直して、すべてひらがなで書きなさい。

2 ——線①「子曰はく」とあるが、「子」とは誰のことか、人名を漢字で書きなさい。

3 ——線②「亦説ばしからずや」とあるが、その意味として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　なんとうれしいことではないか。

イ　もう一度うれしさを感じられるのだ。

ウ　本当にうれしいものだろうか。

エ　まったくうれしくないことである。

4 ——線③「人知らずして慍みず」とあるが、どのようなことか。「世の中」「認める」「不満」の三語を使って、二十字以上三十字以内で書きなさい。ただし、「認める」については、活用させてよいこととする。

5 ——線④「有下リ朋（とも）自二（より）遠方一来上タル」を書き下し文に直し、すべてひらがなで書きなさい。

6 ——線⑤「人不レシテ知ラ而不レ慍ミ、不ニ亦君子一ナラ乎ト」の「而」のように、白文にあっても訓読するときには読まない文字を何というか。三字で書きなさい。

7 ——線⑥「可ベシト以テ為たル師矣」とあるが、書き下し文に合うように返り点をつけなさい。

8 2の漢文が基になってできた故事成語を漢字で書きなさい。

9 ——線⑦「罔し」とあるが、その意味として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　独断に陥ってしまい危険である。

イ　学んだことを明確に理解できない。

ウ　自分の考えしかもつことができない。

エ　明るい未来が訪れることはない。

10 3から、「子」の学問に対するどのような考え方がわかるか。「先人」「研究」の二語を使って、「学問には、～と～が必要だ。」という形で、二十五字以上三十五字以内で書きなさい。

11 ——線⑧「如かず」とあるが、その意味として適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　比べられない

イ　決してしない

ウ　及ばない

エ　限らない

12 4の漢文に出てくる「知る者」「好む者」「楽しむ者」を「子」がよいと考える順に並べて書きなさい。

3

令7

視野を広げて

・作られた「物語」を超えて

3年　光村

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（字数制限のある問題では、句読点、記号も一字と数えなさい。）

　こうした誤解に基づく「物語」は、人間の社会にも①悲劇をもたらす。何気ない行為が誤解され、それがうわさ話として人から人へ伝わるうちに㋐誇張されて、周りに嫌われてしまうことがある。また、同じ言葉で話し合い、誤解を解くことができる間柄なら、②大きな悲劇に発展することを抑えることができる。［A］、言葉や文化の違う民族の間では、誤解が修復されaないまま「物語」が独り歩きをして敵対意識を増幅しかねない。私がゴリラの調査で訪れていた当時のルワンダやコンゴなどでも、㋑紛争が絶えず、肌で戦いを感じる機会が何度もあった。今でも世界各地で争いや㋒ショウトツが絶えbないのは、互いに相手を悪として自分たちに都合のよい「物語」を作りあげ、それを③世代間で継承し、果てしない戦いの心を抱き続けるからだ。どちらの側にいる人間も、その「物語」を真に受け、反対側に立って自分たちを眺めてみることをしcない。

　アフリカの森で暮らすゴリラの調査を通じて、私は人間の、自然や動物、［B］人間自身を見る目がいかに④誤解に満ちているかを知ることができた。その誤解を解くためには、相手の立場に立って、一つ一つの行動にどんな意味があるかを考えることが必要である。人から伝え聞いた「物語」と実際に自分が向かい合っている現象とを照らし合わせ、これまでの常識を疑ってみる態度も必要となる。「物語」によって作られた常識の陰に、しいたげられている生き物や人間がいないか、意味を取り違えて㋓ハイジョしていることがdないか、思いを巡らすことが大切だと思う。

　ドラミングが戦いの宣言だという「物語」の誤解を超えた先には、「ゴリラが⑤人間とは別の表現を用いて平和を保っている」という私にとって新しい価値をもつ豊かな世界が広がっていた。体の仕組みや能力の違う動物の視点に立つためには、その動物が暮らしている自然をよく知ることが必要になる。同じように、この地球に生きるさまざまな人々に起きている「物語」の真実を知るためには、その人々が暮らしている文化や社会をよく理解することが必要であろう。

〈山極寿一「作られた『物語』を超えて」より〉

1　══線㋐～㋓の漢字には読みがなをつけ、かたかなは漢字に直しなさい。

2　〰〰線a～dの「ない」のうち、一つだけ品詞の違うものがある。その記号を選び、品詞名を漢字で書きなさい。

3　［A］、［B］にあてはまる言葉として適当なものの組み合わせを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　A　だが　―　B　つまり
イ　A　あるいは　―　B　そして
ウ　A　だが　―　B　そして
エ　A　あるいは　―　B　つまり

4　――線①「悲劇をもたらす」のは、なぜだと筆者は考えているか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　誤解が解かれずに誇張され、自分たちの都合に合わせて相手を悪とした「物語」となるから。
イ　誤解を解ける関係なら、話し合うことで悲劇に発展することを抑えることができるから。
ウ　悪である相手に対する自分たちの真の「物語」を作りあげ、世代間で伝えることができるから。
エ　新しい技術や工夫がもたらされたことで、より誇張された戦いの心を抱き続けるから。

5　――線②「大きな悲劇に発展する」とあるが、それはどういう場合か。「～場合。」につながるように、十五字以上二十五字以内で書きなさい。

6　――線③「世代間で継承し」とあるが、何を継承するのか。次の一文の空欄に入る言葉を、Ⅰは一字、Ⅱは五字でそれぞれ文章中から抜き出して書きなさい。

＊相手を［Ⅰ］として作りあげた、自分たちに［Ⅱ］話。

7　――線④「誤解に満ちている」とあるが、その誤解を解くために、どのようなことが必要か。「～こと。」につながるように、十字以上二十字以内で二つ書きなさい。

8　――線⑤「人間とは別の表現」をもっている動物を理解するために必要なことは何か。文章中から二十字で抜き出して書きなさい。

9　筆者はゴリラを例に挙げて、人間社会で起きている「物語」の誤解を超えるために必要なことはどのようなことであると述べているか。「疑う」「理解」の二語を使って、三十五字以上四十五字以内で書きなさい。ただし、「疑う」については活用させてよいこととする。

10　「物語」という言葉は、本文ではどのような意味で使われているか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　体験した事実の話
イ　創作した話
ウ　参考になる話
エ　都合よく解釈した話

目次へ戻る

4

言葉とともに

・俳句の可能性
・俳句を味わう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（字数制限のある問題では、句読点、記号も一字と数えなさい。）

［A］　どの子にも涼しく風の吹く日かな　　飯田龍太（いいだりゅうた）

　この句には、「どの子」とは誰なのか、風の吹いている場所はどこなのか、現在のことなのか、過去のことなのか、時間は午前なのか午後なのか、そのような説明が何も書かれていない。わかっているのは、季節が夏であること、子供が複数いること、その子たちに涼しい風が分け㋐ヘダてなく吹いているということだけである。

　①俳句が散文や報道記事などと違うのは、省略されている部分を、読む人の自由な解釈で補って鑑賞できるというところである。この句を読んで、「どの子にも」とは自分のことだ、と思う人もあるだろうし、校庭の㋑木陰でクラスメイトとくつろいでいるときのことだと思う人もあるだろう。幼児の頃、海辺で遊んだ体験を思い出す人もあるだろう。

　そんな想像をかきたてる個々別々の言葉を一つにつないでいるのが、五・七・五という「定型」と、「涼し」という夏を表す言葉、すなわち「季語」である。詳しい説明を省略する俳句には、一句の柱となる言葉に「季語」をa用い、それを五・七・五という「定型」で表現するという基本的な約束がある。この約束を「［あ］」といい、俳句という韻文を支える大きな力となっている。「涼し」が夏の季語であることを知るには「［い］」を繰ればよい。

（中略）

［B］　跳箱（とびばこ）の突き手一瞬冬が来る　　友岡子郷（ともおかしきょう）

　初冬の体育館で体育の跳び箱練習をしている瞬間を、カメラに捉えたと思えばいい。跳び箱に手を突いて空中に飛び上がった。その一瞬、宙で触れた澄んだ大気に、「冬だ。」と感じたのだ。「跳箱の突き手一瞬」と「冬が来る」ことは無関係だが、作者の感性は、この二つを一つにすることで、初冬のきりっとした季節感を出すことに成功している。

　「一瞬」を「冬」という長い時間につなぐことができるように、短い字数でbいろいろなことが表現できるところに、俳句の可能性が秘められている。

（中略）

［C］　②分け入つても分け入つても青い山　　種田山頭火（たねださんとうか）

　放浪の俳人とよばれた山頭火は、一人で全国を行脚（あんぎゃ）する旅に出た。繰り返した言葉のリズムが、山道をひたすら進む歩調に重なり、読者を共に歩いているかのような調子に誘い込む。

　この句は五・七・五の定型をはみ出しており、季語もない。このような自由な音律の俳句を「自由律俳句」とよび、季語のない俳句を「無季俳句」とよんでいる。

　約束が多くて、俳句は難しいと思われるかもしれないが、ここに取り上げた③俳句には特別なものは一つも出てこない。涼しい風、雪、跳び箱、たんぽぽ、歩くことなど、私たちの身近なものばかりだ。関心をもてば、教室の窓から見える雲も、風に揺れる草木も、道端の小石も虫も、友達や家族も、みな俳句の主役になってくれる。

〈宇多喜代子「俳句の可能性」より〉

1　――線㋐、㋑の漢字には読みがなをつけ、かたかなは漢字に直しなさい。

2　～～線a「用い」b「いろいろな」の品詞名と活用形をそれぞれ漢字で書きなさい。

3　――線①「俳句が散文や報道記事などと違う」について、次の問いに答えなさい。

(1)　違いはどのようなところにあるか。文章中から三十五字で抜き出し、始めと終わりの五字を書きなさい。

(2)　(1)のことを、［A］の句を例にして説明しなさい。

4　［あ］、［い］にあてはまる言葉を、それぞれ漢字四字以内で書きなさい。

5　［B］の句について、次の問いに答えなさい。

(1)　この句と同じ季節を詠（うた）ったものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　咳（せき）をしても一人

イ　星空は無音の瀑布（ばくふ）鯨飛ぶ

ウ　金剛の露ひとつぶや石の上

エ　いなびかり北よりすれば北を見る

(2)　この句から感じられる印象として、最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　冬の冷え切った空気と、跳び箱にのしかかるような威圧感

イ　冬の澄み切った空気と、早く跳ばなくてはという焦燥（しょうそう）感

ウ　冬の張りつめた空気と、跳び箱を跳ぶ瞬間の緊張感

エ　冬の湿った空気と、跳び終えてほっとした安心感

(3)　この句ではどのように季節感を出しているのか。「一瞬」「冬」の二語を使って、三十字以上四十字以内で書きなさい。

6　――線②「分け入つても分け入つても」という反復表現には、どのような効果があると筆者は述べているか。「～効果。」につながるように、文章中から二十二字で抜き出し、始めと終わりの五字を書きなさい。

7　――線③「俳句には特別なものは一つも出てこない」を別の言葉で言い換えた次の文の［う］、［え］に入る言葉を、文章中からそれぞれ二字で抜き出して書きなさい。

＊［う（二字）］さえもてば、どんな［え（二字）］なものでも俳句の対象になる。

目次へ戻る

5

状況の中で・挨拶

次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。（字数制限のある問題では、句読点、記号も一字と数えなさい。）

挨拶　――原爆の写真によせて

石垣（いしがき）　りん

あ、
この焼けただれた顔は
一九四五年八月六日
その時広島にいた人
二五万の焼けただれのひとつ

①すでに此（こ）の世にないもの

とはいえ
友よ
向き合った互（たがい）の顔を
も一度見直そう
戦火の跡もとどめぬ
②すこやかな今日の顔
すがすがしい朝の顔を

その顔の中に明日の表情をさがすとき
私（わたし）は③りつぜんとするのだ

④地球が原爆を数百個所持して
生と死のきわどい淵（ふち）を歩くとき
なぜそんなにも安らかに
⑤あなたは美しいのか

しずかに耳を澄ませ
何かが近づいてきはしないか
見きわめなければならないものは目の前に
えり分けなければならないものは
手の中にある

⑥午前八時一五分は
毎朝やってくる

一九四五年八月六日の朝
⑦一瞬にして死んだ二五万人の人すべて
いま在る
⑧あなたの如（ごと）く　私の如く
やすらかに　美しく　油断していた。

〈石垣りん「石垣りん詩集」より〉

1　この詩の種類（文体と形式）を漢字五字で書きなさい。

2　「倒置法」が使われている連はどこか。漢数字で書きなさい。

3　――線①「すでに此の世にないもの」とは、何を指すか。次の［A］、［B］にあてはまる言葉を、詩の中からそれぞれ二字で抜き出して書きなさい。

＊［A（二字）］に落とされた［B（二字）］の犠牲になった人。

4　――線②「すこやかな今日の顔／すがすがしい朝の顔」とあるが、これらの顔と対比されている顔を、詩の中から七字で抜き出して書きなさい。

5　――線③「りつぜんとする」とあるが、作者がそう感じたのはなぜか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　戦争の傷跡が癒え、毎日幸せそうだから。
イ　互いの顔を見直している人がいないから。
ウ　日常が続くと信じて疑っていないから。
エ　明日を待ち遠しそうにしているから。

6　――線④「地球が原爆を数百個所持して」に使われている表現技法を漢字で書きなさい。

7　――線⑤「あなた」と同じ意味で使われている言葉を、詩の中から一字で抜き出して書きなさい。

8　――線⑥「午前八時一五分は／毎朝やってくる」とはどのようなことか。「原爆」「続く」の二語を使って、二十五字以上三十五字以内で書きなさい。ただし、「続く」については活用させてもよいこととする。

9　――線⑦「一瞬にして死んだ二五万人の人」とあるが、同じ意味になっている言葉を第一連から一行で抜き出して書きなさい。

10　――線⑧「あなたの如く　私の如く／やすらかに　美しく　油断していた」とあるが、どのようなことが油断なのか。「平和」「戦争」の二語を使って、二十五字以上三十五字以内で書きなさい。

目次へ戻る

6

状況の中で

令７

・故郷

３年
光村

見本

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（字数制限のある問題では、句読点、記号も一字と数えなさい。）

ある寒い日の午後、私は食後の茶でくつろいでいた。表に人の㋐気配がしたので、振り向いてみた。思わずあっと声が出かかった。急いで立ち上がって迎えた。

来た客はルントウである。ひと目でルントウとわかったものの、そのルントウは、①私の記憶にあるルントウとは似もつかなかった。背丈は倍ほどになり、昔の艶のいい丸顔は、今では黄ばんだ色に変わり、しかも深いしわが畳まれていた。目も、彼の父親がそうであったように、周りが赤く腫れている。私は知っている。海辺で耕作する者は、一日中潮風に吹かれるせいで、よくこうなる。頭には古ぼけた毛織りの帽子、身には薄手の綿入れ一枚、全身ぶるぶる震えている。紙包みと長いきせるを手に㋑サげている。その手も、私の記憶にある血色のいい、丸々した手ではなく、太い、節くれだった、しかもひび割れた、松の幹のような手である。

私は、感激で胸がいっぱいになり、しかしどう口をきいたものやら思案がつかぬままに、ひと言、

「ああルンちゃん――よく来たね……。」

②続いて言いたいことが、後から後から、数珠（じゅず）つなぎになって出かかった。チアオチー、跳ね魚、貝殻、チャー……。だが、それらは、何かでせき止められたように、頭の中を駆け巡るだけで、口からは出なかった。

彼は突っ立ったままだった。③喜びと寂しさの色が顔に現れた。唇が動いたが、声にはならなかった。最後に、うやうやしい態度に変わって、はっきりこう言った。

「④旦那様！……。」

⑤私は身震いしたらしかった。悲しむべき厚い壁が、二人の間を隔ててしまったのを感じた。私は口がきけなかった。

彼は後ろを向いて、「シュイション（水生）、旦那様にお辞儀しな。」と言って、彼の背に隠れていた子供を前へ出した。これぞまさしく三十年前のルントウであった。いくらか痩せて、顔色が悪く、銀の首輪もしていない違いはあるけれども。「これが五番目の子でございます。世間へ出さぬものですから、おどおどしておりまして……。」

母とホンルが二階から下りてきた。話し声を聞きつけたのだろう。

「御㋒インキョ様、お手紙は早くにいただきました。全く、うれしくてたまりませんでした、旦那様がお帰りになると聞きまして……。」と、ルントウは言った。

「まあ、なんだってそんな他人㋓行儀にするんだね。おまえたち、昔は兄弟の仲じゃないか。昔のように、シュンちゃん、でいいんだよ。」と、母はうれしそうに言った。

「めっそうな、御インキョ様、なんとも……とんでもないことでございます。あの頃は子供で、⑥何のわきまえもなく……。」

そして、またもシュイションを前に出してお辞儀させようとしたが、子供ははにかんで、父親の背にしがみついたままだった。

〈魯迅作　竹内好訳「故郷」より〉

１　＝＝線㋐～㋓の漢字には読みがなをつけ、かたかなは漢字に直しなさい。

２　〰〰線「松の幹のような手」に使われている表現技法を漢字で書きなさい。

３　――線①「私の記憶にあるルントウ」の様子が分かる表現を、文章中から六字と十一字で二つ抜き出して書きなさい。

４　――線②「続いて言いたいことが、～出かかった」とあるが、「私」がルントウとの再会で期待していたこととして、最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　少年時代には不十分だった二人の冒険の続き
イ　少年時代のような家族ぐるみの付き合いの継続
ウ　少年時代を懐かしむ楽しい思い出の交流
エ　少年時代以降、交際が途絶えていたことへの謝罪

５　――線③「喜びと寂しさの色」とあるが、どのようなことへの「喜び」と「寂しさ」なのか。「～こと。」につながるように、それぞれ十五字以上二十五字以内で書きなさい。

６　――線④「旦那様！……。」というルントウの言葉は、「私」へのどのような気持ちから出た言葉だと考えられるか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　心の底から尊敬する気持ち
イ　皮肉を言って、からかう気持ち
ウ　身分差から、立場をわきまえる気持ち
エ　冗談を言って、驚かそうとする気持ち

７　――線⑤「私は身震いしたらしかった」とあるが、自分の行動にもかかわらず、「らしかった」と表現していることから、「私」のどのような様子を読み取ることができるか。「理解」の一語を使って、二十五字以上三十五字以内で書きなさい。

８　――線⑥「何のわきまえもなく」とあるが、どのようなことが「わきまえもない」のか。二十字以上三十字以内で書きなさい。

９　「私」とルントウの身分や境遇の違いをたとえた表現を、文章中から八字で抜き出して書きなさい。

目次へ戻る

自らの考えを

・複数の意見を読んで、考えよう

次の二つの文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（字数制限のある問題では、句読点、記号も一字と数えなさい。）

1

私は研究者として環境問題に㋐携わっている。しかし、仕事帰りに立ち寄るスーパーで豆腐が十円引きだとちょっとうれしくなるような、ごく普通の市民でもある。ᵃそんな私たちが、無理なく納得して環境問題に取り組むために、今、①何が必要だろうか。

環境保全というと、ごみ拾いのボランティアやこまめな節電、募金などを思い浮かべる人もいるだろう。これらの取り組みは、確かにすばらしい。しかし、このように個人の良心や自己犠牲に依存する社会では、地球環境は守れないと私は考えている。

では、どうすればよいか。個人に負担を強いるのではなく、社会全体で解決する工夫が必要だ。例えばスーパーで食材を選ぶ際、私たちはなるべく安くておいしいものを選ぶ。あたりまえだ。このような人間の「あたりまえ」を利用して、環境を守る仕組みを作るのだ。

A、安くておいしいものを選んだら、最も環境によい商品だった、という状況を作り出せばよい。こんな都合のよい状況の実現のために「②インセンティブ」という考え方が使える。これは経済学の用語であり、人々の意思決定や行動を変化させる要因のことだ。例えば、政府が環境によい製品に補助金を出すことで、その製品の価格は安くなり、消費者に人気が出る。逆に、環境に悪い製品には補助金が出ないので、価格が高くなり、あまり売れなくなる。このように、㋑セイサク決定者がしっかりとインセンティブを実施すれば、「お買い得」みたいな言葉に弱い我々でも環境保全に貢献できる。

とはいえ、「環境に配慮されていなくても、私はこの製品を選びたい。」という人もいるだろう。インセンティブは、そういった意見や行動も否定しない。選択の自由と多様性を維持したうえで、社会全体をエコな方向にもっていこうという考え方なのだ。

環境保全のことを考えるときには、熱意をもって活動に取り組む人々に注目が集まることが多い。だが、世の中にはさまざまな考えをもった人たちがいる。そのような人にも通用するような現実的な仕組みが、環境問題の解決には求められるのではないだろうか。

〈伊勢武史「社会全体で解決できる仕組みを作る」より〉

2

私は長年、テレビ局のプロデューサーとして環境問題をテーマにした番組を制作し、専門家や企業の担当者に取材を重ねてきた。

今、私たちは地球温暖化をはじめとする③深刻な気候危機のただ中にいる。科学者たちは、目前に迫る二〇三〇年までに二酸化炭素の量を半減させなければ、温暖化の進行はより早まり、被害が深刻化すると㋒ケイショウを鳴らしている。

では、温暖化を止め、地球環境を守るために、私たちに何ができるのだろうか。世界各地で取材を続ける中で、私がたどり着いた答えは、「市民一人一人が行動を起こすこと」だ。

気温の上昇を止めるために、すぐにでも取り組めることは、たくさんある。電気をこまめに消すこと。自転車や公共交通機関を使うこと。木を植えること。マイバッグを持ち歩き、プラスチックなど石油製品の使用を控えること。

B、そんな小さなことの積み重ねで、④本当にこの状況が変わるのかと感じる人もいるだろう。

確かに、個人がこうしたことに取り組むだけでは、温暖化は止まらᵇない。一人一人の直接的な力はとても小さい。しかし、もし㋓膨大な数の個人が一度に行動を起こせば、どうだろうか。国や企業も活動の方針を変えざるをえなくなる。多くの人が行動を起こせば、間接的に世の中を動かす効果があるのだ。

身の回りでも既に変化は現れ始めている。例えば、店舗の電力を一部、再生可能エネルギーに切り替えたり、商品の包装を削減したりする企業が増えている。私たち消費者が、持続可能性に配慮した商品を選ぶようになれば、企業の態度は変化する。一人が踏み出す一歩は、実は大きな一歩なのだ。

どんなに難しい問題の解決も、最初はたった一人が動きだすことから始まる。何より大事なのは、そのとき、「声を上げること」だ。気候危機を食い止めたいという熱意を「声」にして働きかければ、周囲の人々の行動が変わる。それはいつしか大きな流れとなり、企業を変え、社会を変える。一人でも多くの人が、環境問題を自分のこととして捉え、今すぐ行動を起こすことを期待している。

〈堅達京子「一人が踏み出す一歩は、実は大きな一歩」より〉

---

1 ══線㋐〜㋓の漢字には読みがなをつけ、かたかなは漢字に直しなさい。

2 〰線a「そんな」b「ない」の品詞名をそれぞれ漢字で書きなさい。

3 A、B にあてはまる言葉として適当なものを次から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア また　イ だが　ウ つまり

エ だから　オ ところで

4 ――線①「何が必要だろうか」とあるが、筆者は何が必要だと述べているか。文章中から十一字で抜き出して書きなさい。

5 ――線②「インセンティブ」について次の問いに答えなさい。

(1) 「インセンティブ」とは、この文章ではどのような意味で使われているか。文章中から十八字で抜き出し、始めと終わりの五字を書きなさい。

(2) この文章での「インセンティブ」の考え方として、適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 環境に配慮されていない製品を選ぶ人を批判し、社会全体で環境保全を急速に進める考え

イ 環境に悪い製品を製造する業者を厳しく弾圧し、環境に配慮された製品だけを流通させる考え

ウ 補助金をコントロールすることで物価の上昇を抑え、社会全体を自由で豊かなものにする考え

エ 個人の意思を尊重しつつ、社会全体が環境に配慮できるような仕組みを構築していく考え

6 ――線③「深刻な気候危機」の中で、筆者は私たちにできることとは何だと考えているか。文章中から十五字で抜き出して書きなさい。

7 ――線④「本当にこの状況が変わるのか」と感じる人に対し、筆者はどのように述べているか。「直接的」「間接的」「行動」の三語を使って、四十字以上五十字以内で書きなさい。

8 1、2の文章の内容として適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 1では、個人の行動が社会に与える影響に注目し、一人一人が積極的に行動するべきだと述べている。

イ 2では、個人に注目するのではなく、仕組みを整えることで環境問題を解決するべきだと述べている。

ウ 1も2も、社会全体を変える必要性を述べているが、2は個人の行動に注目して意見を述べている。

エ 1も2も、科学的な根拠に基づいて現状を理解し、問題を解決する方法を考えるべきだと述べている。

9 1、2の文章を比較したとき、あなたはどちらの意見に賛成か。立場と理由を明確にして、六十字以上七十字以内で書きなさい。ただし、一文でも二文以上でもよい。

いにしえの心を受け継ぐ

・君待つと

次の和歌を読んで、あとの問いに答えなさい。（字数制限のある問題では、句読点、記号も一字と数えなさい。）

㋐万葉集

A
春過ぎて夏来るらし白たへの
衣干したり天の香具山
持統天皇

B
君待つと我がa恋ひ居れば我が屋戸の
すだれ動かし秋の風吹く
額田王

C
憶良らは今は罷らむ子泣くらむ
それその母も我を待つらむぞ
山上憶良

D
新しき年の初めの初春の
今日降る雪のいやしけ吉事

㋑古今和歌集

E
人はいさ心も知らずふるさとは
花ぞ昔の香ににほひける

F
ちはやぶる神世もきかず龍田河
韓紅に水くくるとは
在原業平

G
思ひつつ寝ればや人の見えつらむ
夢と知りせば覚めざらましを
小野小町

新古今和歌集

H
道の辺に清水流るる柳かげ
しばしとてこそ立ちどまりつれ
西行法師

I
見わたせば花も紅葉もなかりけり
浦の苫屋の秋の夕暮
藤原定家

J
玉の緒よ絶えなば絶えねbながらへば
忍ぶることの弱りもぞする
式子内親王

1 ——線㋐「万葉集」を編纂したとされる**D**の和歌の作者の名前を漢字で書きなさい。

2 ——線㋑「古今和歌集」の序文（仮名序）を書いたとされる**E**の和歌の作者の名前を漢字で書きなさい。

3 〰〰線a「恋ひ居れば」b「ながらへば」を現代仮名遣いに直して、すべてひらがなで書きなさい。

4 **F**の和歌の ちはやぶる について次の問いに答えなさい。

(1) このような、多くは五音からなる特定の語を導き出す語を何というか。二字で書きなさい。

(2) ちはやぶる が導いている語を和歌中から抜き出して書きなさい。

5 **A**の和歌について、「夏来るらし」と推定したのはなぜか。次の文の空欄に入る言葉を十五字以内で書きなさい。

＊天の香具山に□。

6 **B**の和歌について述べられたものとして最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 自分の恋心が変わるさまを、聴覚で捉えて歌っている。
イ 「君」を待つ恋心を、季節の情景に重ねて歌っている。
ウ 「君」への恋心を隠し、秋の季節の変化を歌っている。
エ 技巧を多用し、自分の恋心を秋風にたとえて歌っている。

7 **C**の和歌について、憶良はなぜ「今は罷らむ（もう退出いたしましょう）」と言ったのか。理由を二つに分けて、それぞれ十五字程度で書きなさい。

8 **D**の和歌について、作者はどのようなことがたくさん起きてほしいと願っているか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 喜ばしいこと
イ 興味深いこと
ウ 不思議なこと
エ 寂しいこと

9 **E**の和歌で対比されているものを探し、解答欄に合う形でそれぞれ書きなさい。

10 **G**の和歌について、「夢と知りせば覚めざらましを」と作者が思うのはなぜか。一文で書きなさい。

11 **H**の和歌について、「しばしとてこそ立ちどまりつれ」から、作者はどうしたことが分かるか。「涼しい」の一語を使って、二十字以上三十字以内で書きなさい。ただし、「涼しい」については活用させてもよいこととする。

12 **I**の和歌について述べられたものとして最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 海辺の何気ない光景に風流の美を見出している。
イ 家族や故郷から引き離された悲しみを歌っている。
ウ 旅路のすがすがしい一時を実感的に歌っている。
エ いつの間にか訪れた季節の移り変わりを感じている。

13 **J**の和歌について、作者はなぜ「玉の緒」を「絶えなば絶えね」と思っているのか。解答欄の書き出しに続くように「恋心」の一語を使って、二十字以上三十字以内で書きなさい。

9

令7

いにしえの心を受け継ぐ

・夏草

3年

光村

見本

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（字数制限のある問題では、句読点、記号も一字と数えなさい。）

一

月日は百代（はくたい）の過客（くわかく）にして、行きかふ年もまた①旅人なり。舟の上に生涯を浮かべ、馬の口とらへて老いを迎ふる者は、日々旅にして旅をすみかとす。②古人も多く旅に死せるあり。予もいづれの年よりか、片雲の風にさそはれて、漂泊の思ひやまず、海浜にさすらへて、去年（こぞ）の秋、a江上（かうしやう）の破屋に蜘蛛（くも）の古巣をbはらひて、やや年も暮れ、春立てる霞（かすみ）の空に、白河（しらかは）の関越えむと、③そぞろ神の物につきて心をくるはせ、道祖神（だうそじん）の招きにあひて、取るもの手につかず、股引（ももひき）の破れをつづり、笠（かさ）の緒付けかへて、三里に灸（きう）すゆるより、松島（まつしま）の月まづ心にかかりて、④住めるかたは人に譲りて、杉風（さんぷう）が別墅（べつしよ）に移るに、

⑤草の戸も住み替はる代ぞ雛（ひな）の家

面（おもて）八句を庵（あん）の柱に懸け置く。

二

三代の栄耀（ええう）⑥一睡のうちにして、大門（だいもん）の跡は一里こなたにあり。秀衡（ひでひら）が跡は田野（でんや）になりて、金鶏山（きんけいざん）のみ形を残す。まづ、高館（たかだち）に登れば、北上川（きたかみ）、南部より流るる大河なり。衣川（ころも）は、和泉（いづみ）が城（じやう）をめぐりて、高館の下にて大河に落ち入る。泰衡（やすひら）らが旧跡は、衣（ころも）が関（せき）を隔てて南部口をさし固め、夷（えぞ）を防ぐと見えたり。さても義臣すぐつて⑦この城に籠もり、功名一時の草むらとなる。「国破れて山河あり、城春にして草青みたり」と笠打ち敷きて、⑧時のうつるまで涙を落としはべりぬ。

⑨夏草や兵（つはもの）どもが夢の跡

⑩卯（う）の花に兼房（かねふさ）見ゆる白毛（しらが）かな　曾良（そら）

〈「おくのほそ道」より〉

1　〰線a「江上（かうしやう）」、b「はらひて」を現代仮名遣いに直して、すべてひらがなで書きなさい。

2　――線①「旅人」と同じ意味の語句を文章中から抜き出して書きなさい。

3　――線②「古人も多く旅に死せるあり」とあるが、ここから読み取れる作者の思いとして適当なものを次から二つ選び、記号で答えなさい。

ア　行くあてのない不安
イ　自らも旅に出たい願望
ウ　世間で評価されたい欲望
エ　詩歌の先達への憧れ

4　――線③「そぞろ神の物につきて～取るもの手につかず」で使われている表現技法を書きなさい。

5　――線④「住めるかたは人に譲りて」とあるが、芭蕉のどのような気持ちが表れているか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　他人への親切心
イ　旅にかける決意
ウ　待つ人がいない孤独感
エ　貧しさゆえの苦悩

6　――線⑤「草の戸も住み替はる代ぞ雛の家」の句の大意を「草庵」「新しい住人」「雛人形」の三語を使って、三十字以上四十字以内で書きなさい。

7　――線⑥「一睡のうちにして」の意味として適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　一世代で終わって
イ　少しずつ変化して
ウ　はかなく消え果て
エ　美しく栄えており

8　――線⑦「この城」とあるが、それはどこか。文章中から一語で抜き出して書きなさい。

9　――線⑧「時のうつるまで涙を落としはべりぬ」とあるが、作者はなぜ涙を落としたのか。「自然」「人間」の二語を使って、二十五字以上三十五字以内で書きなさい。

10　――線⑨「夏草や兵どもが夢の跡」の句と同じような内容を表す部分を、二の文章中から十一字で抜き出して書きなさい。

11　――線⑩「卯の花に兼房見ゆる白毛かな」の句について、次の問いに答えなさい。

(1)　曾良は何を見て、何を連想したか。「～を連想した。」につながるように、十五字以内で書きなさい。

(2)　季語、季節、切れ字を書きなさい。

目次へ戻る

見本

10

令7

価値を生み出す
・それでも、言葉を

3年

光村

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（字数制限のある問題では、句読点、記号も一字と数えなさい。）

　言葉の二極化は、価値の二極化とも連動している。わかりやすさが善くて、わかりにくさは悪いといった単純な二項対立。現実の社会では、正解がない問いにどう対処していくかを考えることが常に求められるのに、わからないものに、わからないまま向き合い続ける知的耐性がない。①思考停止に陥り、わかりやすい言葉、わかりやすい説明にすぐに飛びついてしまう。

　私自身、このような状況を前にして、言葉の無力さに打ちひしがれることがある。確信をもって言葉を発せないこともある。Ａ、戦争の足音が遠くから響いてくる今、言葉の無力を前に、ただうなだれてばかりでおれない。歴史をひもとけばすぐにわかることだが、人々をあおることで②言葉が戦争を構成してゆくこともあれば、口をつぐむことで人々を戦争へと押しやることもある。だが、口を塞がれても言葉を失っても、それは表現が追い詰められているだけで、言葉の可能性が根こぎにされたわけではない。言葉を失いかけていることを初めて、そしてもっとも痛切に知らせるのも言葉だったし、言葉の無力にうなだれる声をもっとも繊細に伝えてきたのも言葉だった。言葉の制圧に対して、高度な当てこすりやアクロバティックな手法で抵抗してきたのも言葉だった。Ｂその最終的な③挫折をすら、人は言葉に残し、そのあと何度も反芻（はんすう）した。そういう言葉の力に、一人一人がそれぞれに、㋐マギれもなく支えられてきた。

　言葉と思考が二極化したこの時代だからこそ、私は両端の「間」に息づく言葉、④多様なグラデーションを許容する言葉のありように注目したい。言葉には独特の厚みがある。含みや曲折、肌理（きめ）や奥行き、曖昧さや多義性があって、だからこそ心のひだや物事の差異を㋑ビサイに表現できる。ちゃかしたり皮肉ったり、あるいはかわしたり裏返したりもできる。そういうアイロニーやユーモアに見られる間合いの幅。ためらいや迷い、もたつきをも受け入れる㋒カンヨウさ。そうした、いきなりぶつかるのでもなく、かといって接触を避けるのでもなく、互いに適切な距離を測りつつ、触れるか触れないかのあわいで探り合う言葉が、今ほど求められているときはないのではないか。

　私の担当するコラムは、小さな枠の中で、水をまくように言葉のかけらをまく。文脈を丁寧につける紙幅がないため、人によって相反する受け止め方もされよう。ただ、「あれっ？」と引っ掛かるところを大事にしている。一瞬意味のつかめないような表現や逆説、言外に含みや時に毒のあるもの。それらがフックとなって次の思考が始まればいい。

　言葉の㋓惨状にめげそうになりながら、⑤私は今日も言葉の森をうろついている。私の見つけた言葉が、まだ見ぬ誰かへの贈り物になり、その人の中で育った言葉が、また他の誰かを支えられたらいいなと思っている。

〈鷲田清一「それでも、言葉を」より〉

1　══線㋐～㋓の漢字には読みがなをつけ、かたかなは漢字に直しなさい。

2　〰〰線「接触」と同じ構成の熟語として適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　功罪　イ　歓声　ウ　出発　エ　握手　オ　人造

3　Ａ、Ｂにあてはまる言葉として適当なものを次から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア　例えば　イ　だが　ウ　つまり
エ　なぜなら　オ　そして

4　――線①「思考停止に陥り、わかりやすい言葉、わかりやすい説明にすぐに飛びついてしまう」とはどのような状況を指すか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　難しいことを考えなくなり、単純な解決策をすぐに求めてしまう状況
イ　わかりやすい言葉を使い、他人に伝わりやすくする状況
ウ　複雑な問題を簡単に解決する方法を発見する状況
エ　考えを整理して、明確な結論を導く状況

5　――線②「言葉が戦争を構成してゆく」とはどういうことか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　言葉が戦争の悲惨さを記録する役割を果たすこと
イ　言葉を使って戦争を支持したり、増長させたりすること
ウ　言葉が戦争を止めるために使われること
エ　言葉によって戦争の結果が変わること

6　――線③「挫折」の内容を述べている部分を文章中から十二字で抜き出して書きなさい。

7　――線④「多様なグラデーションを～注目したい」とあるが、それはなぜか。「曖昧さ」「適切な距離」の二語を使って、四十五字以上五十五字以内で書きなさい。

8　――線⑤「私は今日も言葉の森をうろついている」とはどういう意味か。「支え」の一語を使って、「～様子。」につながるように、十五字以上二十五字以内で書きなさい。

9　この文章の書かれ方の特徴について適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　論理的に整理され、読者に明確な結論を示す書き方
イ　比喩や抽象的な表現を使い、読者に深く考えさせる書き方
ウ　感情的な表現を使い、読者に強い共感を呼び起こす書き方
エ　読者に対して簡潔に事実を伝える説明的な書き方

目次へ戻る

1

令7

握手

3　年

組

番

氏　名

得　点

観点別

知・技	／10
思・判・表	／40

② × 5

1 知

㋐ しい

㋑

㋒

2 知

a

b

⑤ × 8

3 思

4 思

40

30

5 思

6 思

7 思

8 思

9 思

(1)

30

20

(2)

見本

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

目次へ戻る

2

令７

学びて時に之（これ）を習ふ

３　年
組
番
氏　名

得　点

観点別

知・技	思・判・表
/30	/20

③×4			⑦×1	③×5					⑦×1	③×1	⑥×1
1 ㊈知	2 ㊈知	3 ㊈知	4 ㊈思	5 ㊈知	6 ㊈知	7 ㊈知	8 ㊈知	9 ㊈知	10 ㊈思	11 ㊈知	12 ㊈思
a b			20 30			可ベシト 以テ 為たル 師 矣			25 35		↓ ↓

見本

※無断で複製をすることを禁じます。

目次へ
戻る

3

令7

作られた「物語」を超えて

3 年
組
番
氏 名

得 点

観点別
知・技 /14
思・判・表 /36

1 (知)	2 (知)	3 (思)	4 (思)	5 (思)	6 (思)	7 (思)	8 (思)	9 (思)	10 (思)
②× 4	③× 2	④ × 9							
㋐ ㋑ ㋒ ㋓	記号 品詞			15 25 場合。	Ⅰ Ⅱ	一つ目 20 10 こと。 二つ目 20 10 こと。	20	35 45	

見本

目次へ
戻る

4

令7

俳句の可能性
俳句を味わう

3 年
組
番
氏 名

得 点

観点別	
知・技	/24
思・判・表	/26

③×6			③×1	④×1	③×2	③×2	④×1	③×3		
1 (知)	2 (知)		3		4 (知)	5		6 (思)	7 (思)
㋐	a	b	(1) (思)	(2) (思)	あ	(1) (思)	(3) (思)	始め	う
て	品詞	品詞	始め				30 40	〜	え
㋑	活用形	活用形	〜 終わり		い	(2) (思)		終わり 効果。	

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

見本

5

令7

挨拶

3　年

組

番

氏　名

得　点

観点別

知・技　／12

思・判・表　／38

②×1	⑤×1	④×2	⑤×2		⑤×1	⑤×4			
1 知	2 知	3 思	4 思	5 思	6 知	7 思	8 思	9 思	10 思
	第　　連	A B					25 35		25 35

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

見本

目次へ戻る

6

令７

故郷

３　年

組

番

氏　名

得　点

観点別

知・技

／10

思・判・表

／40

②×５

１ ㊐知

㋐

㋑

げて

㋒

㋓

２ 知

⑤×８

３ 思

４ 思

５ 思

喜び

15

25

こと。

寂しさ

15

25

こと。

６ 思

７ 思

25

35

８ 思

20

30

９ 思

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

目次へ戻る

7

令7

複数の意見を読んで、考えよう

3 年
組
番
氏 名

得 点

観点別	
知・技	／12
思・判・表	／38

②×6		④×6				⑤×1	④×1	⑤×1
1 知	2 知	3 思	4 思	5 思	6 思	7 思	8 思	9 思
㋐ わって ㋑ ㋒ ㋓	a b	A B		(1) 始め 〜 終わり (2)		40 50		60 70

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

見本

目次へ戻る

8

令7

君待つと

3年　組　番

氏名

得点

観点別

知・技　/18

思・判・表　/32

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

③×6　③×7　④×1　③×1　④×1

1 知	2 知	3 知	4 知	5 思	6 思	7 思	8 思	9 思	10 思	11 思	12 思	13 思
		a b	(1) (2)			一つ目 二つ目		（　）（　）の（　） （　）（　）の（　）				生きながらえていると、

見本

目次へ戻る

見本

9

令7

夏　草

3　年

組

番

氏　名

得　点

②× 2	④× 1	④× 1	④× 1	④ × 2		④× 1	④ × 4			②× 3	
1 知	2 知	3 思	4 知	5 思	6 思	7 知	8 思	9 思	10 思	11	
a					30			25		(1) 思 15 を連想した。	(2) 知 季語 季節 切れ字
b					40			35			

観点別	
知・技	/22
思・判・表	/28

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

目次へ戻る

10

令7

それでも、言葉を

3 年

組

番

氏 名

得 点

観点別

知・技 ／10

思・判・表 ／40

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

② × 5

⑤ × 8

1 ㊐知
㋐ れ
㋑
㋒
㋓

2 ㊐知

3 ㊐思
A
B

4 ㊐思

5 ㊐思

6 ㊐思
12

7 ㊐思
45
55

8 ㊐思
15
25
様子。

9 ㊐思

見本

目次へ戻る

1

令7

握手

3 年　組　番

氏名

得点

観点別

知・技	思・判・表
/10	/40

（採点基準）

4　ルロイ修道士の気持ちを踏まえていなければ不可。理由を述べる文末表現でなければ二点減点。

9(1)　文末が「〜こと。」でなければ二点減点。

②×5

1 知
㋐ 寂しい
㋑ 一周忌
㋒ しゅよう

2 知
a 接続詞（漢字指定）
b 形容詞（漢字指定）

⑤×8

3 思　指言葉

4 思　(例)わたしに会いに来た本当の理由を、わたしに気づかれて照れくさかったから。

5 思　ウ

6 思　エ

7 思　ウ

8 思　イ

9 思
(1) (例)重い病気でありながら、わたしたちに会って回っていたこと。
(2) ア　エ　（順不同）（完答）

見本

目次へ戻る

2

令7

学びて時に之（これ）を習ふ

3年　組　番

氏名

（採点基準）

4 1

ひらがなでなければ不可。

「世の中」「認める」（活用可）「不満」の三語がなければ不可。

文末が「～こと。」でなければ二点減点。

105

すべてひらがなでなければ不可。

「学問には、～と～が必要だ。」という形でなければ不可。

「先人」「研究」の二語がなければ不可。

観点別	
知・技	/30
思・判・表	/20

得点

③×4

1 ㊐知
a　おもわざれば
b　あやうし

2 ㊐知　孔子（漢字指定）

3 ㊐知　ア

⑦×1

4 ㊐思　（例）世の中の人が自分を認めてくれなくても、不満を抱かないこと。

③×5

5 ㊐知　ともえんぽうよりきたるあり

6 ㊐知　置き字

7 ㊐知　可（ベシト）二以（テ）為（たル）㆑師矣

8 ㊐知　温故知新（漢字指定）

9 ㊐知　イ

⑦×1

10 ㊐思　（例）学問には、先人から知識を得ることと考えて研究することの両方が必要だ。

③×1

11 ㊐知　ウ

⑥×1

12 ㊐思　楽しむ者　↓　好む者　↓　知る者　（完答）

目次へ戻る

3

令７

作られた「物語」を超えて

3	年
	組
	番
氏名	
得点	

（採点基準）

5 文末が「〜場合。」につながる形でなければ不可。

7 文末が「〜こと。」につながる形でなければ不可。

9 「疑う」（活用可）「理解」の二語がなければ不可。

文末が「〜こと。」でなければ二点減点。

観点別	
知・技	／14
思・判・表	／36

配点	問		解答
②×4	1（知）	㋐	こちょう
		㋑	ふんそう
		㋒	衝突
		㋓	排除
③×2	2（知）	記号	d
		品詞	形容詞（漢字指定）
④×9	3（思）		ウ
	4（思）		ア
	5（思）		（例）言葉や文化の違う民族の間で誤解が修復されない場合。
	6（思）	Ⅰ	悪
		Ⅱ	都合のよい（完答）
	7（思）	一つ目	（例）相手の立場に立ち、行動の意味を考えること。
		二つ目	（例）これまでの常識を疑ってみること。
	8（思）		その動物が暮らしている自然をよく知ること
	9（思）		（例）「物語」によって作られた常識を疑い、互いに相手が暮らしている文化や社会を理解すること。
	10（思）		エ

目次へ戻る

4

俳句の可能性
俳句を味わう

令7

3 年　組　番

氏名

得点

観点別	
知・技	/24
思・判・表	/26

（採点基準）
3(2) 省略部分を自由に解釈できるということが具体的に書いてあれば可。
5(3) 「一瞬」「冬」の二語がなければ不可。

1 ㊈ ③×6（1・2）
㋐ 隔て
㋑ こかげ

2 ㊈
a 品詞 動詞（漢字指定）　活用形 連用形（漢字指定）
b 品詞 形容動詞（漢字指定）　活用形 連体形（漢字指定）

3 ㊆
(1) ③×1　始め 省略されて ～ 終わり いうところ（完答）
(2) ④×1　（例）「どの子にも」を自分のことだと考えてもよいし、近所の子供のことだと考えてもよい。

4 ㊈ ③×2
㋐ 有季定型（漢字指定）
㋑ 歳時記（漢字指定）

5
(1) ㊆ ③×2　イ
(2) ㊆　ウ
(3) ㊆ ④×1　（例）一瞬と冬という表現を一句に入れることで、初冬のきりっとした季節感を出している。（30）（40）

6 ㊆ ③×3（6・7）
始め 読者を共に ～ 終わり に誘い込む（完答） 効果。

7 ㊆
㋒ 関心
㋓ 身近

見本

目次へ
戻る

5

令７

挨拶

３　年　　組　　番

氏　名

得　点

（採点基準）

8　「原爆」「続く」（活用可）の二語がなければ不可。
文末が「～こと。」でなければ二点減点。

10　「平和」「戦争」の二語がなければ不可。
文末が「～こと。」でなければ二点減点。

②×１	1 知	口語自由詩（漢字指定）
⑤×１	2 知	第三連（漢字指定）
④×２	3 思	A 広島 B 原爆
⑤×２	4 思	焼けただれた顔
	5 思	ウ
⑤×１	6 知	擬人法（漢字指定）
⑤×４	7 思	友
	8 思	（例）いつ原爆が落とされてもおかしくない状態が今も続いていること。
	9 思	その時広島にいた人
	10 思	（例）明日も平和であると信じて、戦争の恐ろしさを忘れて暮らすこと。

観点別	
知・技	／12
思・判・表	／38

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

見本

目次へ戻る

6

令7

故郷

3 年　組　番

氏名

得点

観点別

知・技 ／10

思・判・表 ／40

（採点基準）

5 文末が「〜こと。」につながる形でなければ不可。

7 「理解」の一語がなければ不可。文末が「〜様子。」でなければ二点減点。

8 文末が「〜こと。」でなければ不可。

②×5

1 ㊥知

㋐ けはい

㋑ 提げて

㋒ 隠居

㋓ ぎょうぎ

2 ㊥知 比喩（直喩）（漢字指定）

⑤×8

3 ㊥思 艶のいい丸顔・血色のいい、丸々した手（完答）

4 ㊥思 ウ

5 ㊥思

喜び：（例）幼い頃に仲のよかった私と久しぶりに会えたこと。

寂しさ：（例）昔のように私に接することができなくなってしまったこと。

6 ㊥思 ウ

7 ㊥思 （例）ルントウの言葉に衝撃を受け、自分に起きたことを理解できない様子。

8 ㊥思 （例）私をシュンちゃんと呼んで、兄弟のように親しくしていたこと。

9 ㊥思 悲しむべき厚い壁

目次へ戻る

7

令７

複数の意見を読んで、考えよう

３　年　　組　　番

氏名

得点

観点別	
知・技	／12
思・判・表	／38

（採点基準）

７　「直接的」「間接的」「行動」の三語がなければ不可。

９　立場を明確にしていなければ不可。立場と理由を明確にし、自分の考えが書かれていれば可。

②×６	１ 知	㋐	たずさわって
		㋑	政策
		㋒	警鐘
		㋓	ぼうだい
	２ 知	a	連体詞（漢字指定）
		b	助動詞（漢字指定）
④×６	３ 思	A	ウ
		B	イ
	４ 思		社会全体で解決する工夫
	５ 思	(1)	始め　人々の意思　〜　終わり　させる要因（完答）
		(2)	エ
	６ 思		市民一人一人が行動を起こすこと
⑤×１	７ 思		（例）一人一人の直接的な力は小さいが、多くの人が行動を起こせば、間接的に世の中を動かす力がある。
④×１	８ 思		ウ
⑤×１	９ 思		（例）私は1の文章に賛成です。多様性が大切にされている社会だからこそ、多くの人が無理なく環境保全に貢献できる仕組みが必要だと思ったからです。

見本

目次へ戻る

8

令７

君待つと

３年　組　番

氏名

得点

観点別	
知・技	/18
思・判・表	/32

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

（採点基準）

3　ひらがなでなければ不可。

5　理由を述べる文末表現でなければ二点減点。

7　「母」のみは不可。「子供の母」もしくは「妻」は可。理由を述べる文末表現でなければ二点減点。

10　理由を述べる文末表現でなければ二点減点。

11　「涼しい」（活用可）の一語がなければ不可。文末が「〜こと。」でなければ二点減点。

13　「恋心」の一語がなければ不可。理由を述べる文末表現でなければ二点減点。

③×6

1 ㊋　大伴家持（漢字指定）

2 ㊋　紀貫之（漢字指定）

3 ㊋　a　こいおれば　b　ながらえば

4 ㊋　(1)　枕詞　(2)　神

③×7

5 ㊖　（例）真っ白な衣が干してあるから

6 ㊖　イ

7 ㊖　一つ目　（例）子供が泣いているだろうから。　二つ目　（例）子供の母（私の妻）が待っているだろうから。

8 ㊖　ア

9 ㊖　（人）の（心）（花）の（香）（順不同）（完答）

10 ㊖　（例）恋しい人とずっと一緒にいたいから。

④×1

11 ㊖　（例）あまりに涼しいので、思わず長い時間を過ごしてしまったこと。

③×1

12 ㊖　ア

④×1

13 ㊖　生きながらえていると、（例）恋心を秘めている力が弱ってしまうかもしれないから。

9

令7

夏

草

3　年

組

番

氏　名

得　点

観点別

知・技　／22

思・判・表　／28

（採点基準）

1　ひらがなでなければ不可。

6　「草庵」「新しい住人」「雛人形」の三語がなければ不可。

9　「自然」「人間」の二語がなければ不可。

11（1）　理由を述べる文末の表現がなければ二点減点。

「卯の花」「兼房」の二語がなければ不可。

「〜を連想した。」につながる形でなければ不可。

問題	配点	解答
1 知	②×2	a　こうしょう b　はらいて
2 知	④×1	過客
3 思	④×1	イ エ （順不同）（完答）
4 知	④×1	対句
5 思	④×2	イ
6 思		（例）元の草庵にも新しい住人が引っ越してきて、華やかに雛人形を飾っている。
7 知	④×1	ウ
8 思	④×4	高館
9 思		（例）いつまでも自然は変わらないが、人間の営みははかないと感じたから。
10 思		功名一時の草むらとなる
11（1）思	②×3	（例）白い卯の花を見て、兼房の白髪を連想した。
11（2）知		季語　卯の花 季節　夏 切れ字　かな

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

目次へ戻る

10

令7

それでも、言葉を

3 年　組　番

氏 名

得 点

（採点基準）

7 「曖昧さ」「適切な距離」の二語がなければ不可。理由を述べる文末表現でなければ二点減点。

8 「支え」の一語がなければ不可。文末が「〜様子。」につながる形でなければ不可。

観点別	
知・技	/10
思・判・表	/40

② × 5

1 ㊋知	㋐	紛れ
	㋑	微細
	㋒	寛容
	㋓	さんじょう
2 知		ウ

⑤ × 8

3 思	A	イ
	B	オ
4 思		ア
5 思		イ
6 思		言葉を失いかけていること
7 思	（例）	言葉のもつ曖昧さや多義性によって、互いに適切な距離を測りつつ探り合うことが、今は求められているから。
8 思	（例）	誰かの支えとなるような言葉を探している様子。
9 思		イ